

料金別納郵便



シルヴァカーヌ ©Muda Tomohiro

シト一の光

澄み通った闇の中、差し入る光は微かにゆすれ、
波動は身体に染み入って石との間で共振する。

アート
玄 羅
gen ra



シト一の光

写真家

六田 知弘展

10月8日(金)~26日(火)

12:00~17:00【水・木曜 休み】

作家在廊日:10月8日(金)・9日(土)・10日(日)

略歴 1956年奈良県生まれ。

1982年よりネパールヒマラヤ山中のシャルパの村に暮らして撮影。

1988年初個展「ひかりの素足-シェルパ」(新宿ニコンサロン)を開催する。

以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を遠くを探りながら、モノ、風景、石、水、壁、人、文化財や遺跡、古美術品など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

2007年 国立西洋美術館で「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」を開催。

2008年 中国の「雲岡石窟」の全容を撮影し、2011年写真展「雲岡 仏宇宙」(繭山龍泉堂)を開催。

2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道 六田知弘 東洋のまなざし」が世界各地を巡回中。

2011年の震災後の東北地方にて、津波にのまれ打ちあげられた被災物を撮影し、

2013年より写真展「時のアイコン-東日本大震災の記憶」として相田みつを美術館や渋谷区立松涛美術館など、国内外を巡回。

2014年 大阪市立東洋陶磁美術館で「蓮-清らかな東洋のやきもの×写真家・六田知弘の眼」を開催。

2017年 大阪と奈良県御所市にて「写真家 六田知弘 宇宙のかげら-御所GOSE」を開催。

2018年 静岡県の池田20世紀美術館にて 六田知弘写真展「壁・ヒミツノアリカ」を開催。

2020年 六田知弘写真展「仏宇宙」を相田みつを美術館で開催。

2021年 3月ポルテ金沢にて、東日本大震災から10年、「時のアイコン展」を開催。

そのほか、国内外の美術館やギャラリーなどでの個展多数。

写真集 『石と光 シト一のロマネスク聖堂』(平凡社刊) / 『時のアイコン 東日本大震災の記憶』(平凡社刊)

『ロマネスク-光と闇にひそむもの』(生活の友社刊) / 『仏宇宙』(生活の友社刊) など多数。

アート
玄 羅
gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ポルテ金沢3F

TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]

E-mail genraart@ozzio.jp

Web http://genraart.com

f 玄羅アート



国の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿い、鑑賞環境には十分気を付けてまいります。会期中、時短営業・臨時休業・入廊制限する場合がございます。